

令和8年度								工 事 仕 様 書							
工 事 名		R8既設防護管内配水管（国道16号）試掘等調査業務委託													
工 事 場 所		春日部市小湊地内													
路 河 川 名 称															
事 業 名															
工 事 大 要															
試掘工		N= 1箇所													
舗装工		A=19㎡													

案内図



米久かがやき工場

小
瀬
中
島
ち
び
っ
子
広
場

中島

試掘箇所

小
瀬
ち
び
っ
子
広
場

R8既設防護管内配水管（国道16号）試掘等調査業務委託
春日部市小瀬地内

100m

1:2,000

変 更 理 由							
備 考							
地 区	(0001) 県南	労務費補正	1. 00	機械経費(賃料)補正	1. 00		
単価適用年月	(R0809) 令和08年09月						
工 期	当 初	自		至	令和 9年 2月 12日		
		日 数					
	変 更				至		
経費適用年月	令和08年09月						
主たる工種	開削工事及び小口径推進工事等						
施 工 地 域	一般交通影響あり①						
設 計	当 初 金 額			変 更 金 額			
	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
請 負	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分	採用しない						

本 工 事 費 内 訳 書									
工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
水道施設整備						式			
				1					
_ 試掘調査						式			
				1					
_ _ 試掘工						式			
				1					
_ _ _ 管路調査工						式			
				1					
_ _ _ _ 管路材料・労務費						式			第1号一位代価表
				1					
_ _ _ _ カメラ調査工						式			第2号一位代価表
				1					
_ _ _ 試掘工						式			
				1					
_ _ _ _ 試掘土工						式			第3号一位代価表
				1					
_ _ _ _ 土留工 3.0m (2段)						箇所			第4号一位代価表
				1					
_ _ 本復旧工						式			
				1					
_ _ _ 舗装工						式			
				1					

本 工 事 費 内 訳 書								
工事区分 工種 種別 細別・規格				数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装本復旧工					式			第5号一位代価表
				1				
【交通誘導警備員】					式			
				1				
【交通誘導警備員】					式			
				1				
【交通誘導警備員】					式			
				1				
交通誘導警備員 A					人日			第6号一位代価表
交通誘導警備員 B					人日			第7号一位代価表
直接工事費					式			
				1				
共通仮設費計					式			
				1				
共通仮設費(積分)					式			
				1				
運搬費					式			
				1				
仮設材等運搬 (往路)					t			第9501号一位代価表
				0.4				

本 工 事 費 内 訳 書								
工事区分	工種	種別	細別・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — — 仮設材等運搬（復路）					t			第9502号一位代価表
				0.4				
— — 現場環境改善費計					式			
				1				
— — — 現場環境改善費（率分）					式			
				1				
— — 共通仮設費（率分）					式			
				1				
— 純工事費					式			
				1				
— 現場管理費					式			
				1				
— 工事原価計					式			
				1				
— 一般管理費等					式			
				1				
工事価格					式			
				1				
— 消費税相当額					式			
				1				
工事費合計					式			
				1				

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
不断水割T字管 鋳鉄管 $\phi 200 \times \phi 75$ バルブ付き		基			
	1				
不断水連絡工（鋳鉄管） $\phi 200 \times \phi 75$ 昼間		箇所			
	1				
フランジ 蓋 $\phi 75$ 7.5K		個			
	1				
フランジ用合金(FSA) 全面型 布 入り $\phi 75$ 7.5k		組			
	1				
鋳鉄管布設 フランジ継手接合 新設, JWWA 7.5K, 75(80)mm, 本, 本, 無		口			第1号施工表
	1				
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
調査主任技師		人			
配管工		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
機械損料		式			
	1				
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	2	m			第1号施工P
バックホ舗装版直接掘削・積込 0cm超え10cm以下, クロー型山積0.28m3, 排出ガス対策型(第2次基準値)	1	m2			第2号施工表
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後, 最終処分場に搬入 [焼却又は溶融含まず]	0.01	m3			
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 10kmまで		台			
As殻運搬処理	0.1	m3			第1号特殊施工
バックホ掘削積込 クロー型山積0.28m3, 排出ガス対策型(第2次基準値)	3	m3			第6号施工表
掘削 土砂, 現場制約あり	1	m3			第2号施工P
人力積込 土砂	1	m3			第3号施工P
発生土運搬処理	4	m3			第2号特殊施工
管路埋戻 (機械埋戻・バックホ)	4	m3			第4号特殊施工

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
フィルター層 100mm以上120mm未満	1	m2			第4号施工P
路盤工 (t =10cm) 1 層, 1.8m未満, 再生クラッシャーラン RC-40, 10 m3/100m2	1	m2			第10号施工表
舗装工(人力) 40 mm, 歩道, 粗粒度及び密粒度アスファルト 混合物, フライムコート(PK-3), 有	1	m2			第12号施工表
合 計		式			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
軽量鋼矢板たて込み工(機械施工)		m			第15号施工表
3.0m以下, クロー型山積0.28m ³ , 排出ガス対策型(第2次基準値)	1.2				
軽量鋼矢板引抜き工(機械施工)		m			第16号施工表
3.0m以下, バックホウ 山積0.28m ³ , 排出ガス対策型(第2次基準値)	1.2				
支保材(軽量金属製)設置・撤去工		m			第17号施工表
設置+撤去, 2段(3.5m以下), 水圧式ハイフット	1.2				
軽量鋼矢板賃料		t			第5号特殊施工
	0.354				
支保材(軽量金属製)賃料		式			第6号特殊施工
	1				
合 計		箇所			

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cmを超え30cm以下, 全ての費用	6	m			第5号施工P
アスファルト切断濁水処分費 中間処理後, 最終処分場に搬入 [焼却又は溶融含まず]	0.01	m ³			
アスファルト切断濁水運搬費 積載量2t 運搬距離 15kmまで		台			
バックホウ舗装版直接掘削・積込 0cmを超え10cm以下, クローラ型山積0.28m ³ , 排出ガス対策型(第2次基準値)	19	m ²			第2号施工表
As殻運搬処理	1	m ³			第1号特殊施工
不陸整正 (t=2cm) 有り, 16mm以上22mm未満, 再生クラッシュランRC-40, 全ての費用	19	m ²			第6号施工P
透水性アスファルト舗装 1.4m未満, 40 mm, mm, 開粒度アスコン(13)	19	m ²			第7号施工P
合 計		式			

第6号一位代価表

交通誘導警備員 A

100.000 人日 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員A		人			
合 計		人日			
	(1		当り		

第7号一位代価表

交通誘導警備員 B

100.000 人日 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人			
合 計		人日			
	(1		当り		

第9501号一位代価表

仮設材等運搬（往路）

100.000 t 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等） 関東・中部・近畿，2 km，km，12m以 内，各種（実数入力），0，無		t			第18号施工表
	100				
仮設材等の積込み取卸し費 積込み、取卸し（片道分）		t			第19号施工表
	100				
合 計		t			
	(1		当り		

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 関東・中部・近畿, 2 km, km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無		t			第18号施工表
	100				
仮設材等の積込み取卸し費 積込み、取卸し(片道分)		t			第19号施工表
	100				
合 計		t			
	(1		当り		

(WJ102050)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		人			
普通作業員		人			
ボルト	4.000	本			
諸雑費（率・まるめ）	1	式			
合 計	1	口	当り		

条件名称

J01 作業区分

J02 管の規格

J03 呼び径

J07 配管工労務単価補正

入力名称

新設

JWWA 7.5K

75(80)mm

無

第 0002 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ舗装版直接掘削・積込 100.00 m2 当り
(WJ501040)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 クローラ型山積0.28m3, 排出ガス対策型(第2次基準値)		時間			第3号施工表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	舗装厚	0cm超え10cm以下
J02	バックホウ機種	クローラ型山積0.28m3
J03	バックホウ規格	排出ガス対策型(第2次基準値)

第 0003 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ運転 1.00 時間 当り
(WJ501041)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		hr			
合 計	1	時間	当り		

	条件名称	入力名称
J01	バックホウ機種	クローラ型山積0.28m3
J02	バックホウ規格	排出ガス対策型(第2次基準値)

第 0004 号 一位代価表(施工歩掛表) 発生土・As塊・Co塊処理 10.00 m3 当り

(WJ501030)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転 4t 良好		日			第5号施工表
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合 計	1	m3	当り		

条件名称

J01 施工区分

J02 ダンプトラック規格

J03 積込機種

J04 DID区間の有無

J12 運搬距離(4t)山積0.28m3

J19 タイヤ損耗費

J20 処分費計上の有無

入力名称

As塊・Co塊(無筋)

4t積

バックホ山積0.28m3

有

9.0km以下

良好

無

第 0005 号 一位代価表(施工歩掛表) ダンプトラック運転 4t 1.00 日 当り

(WJ501031)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(一般)		人			
軽油		L			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級		供用日			
タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

条件名称

J01 タイヤ損耗費

入力名称

良好

第 0006 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ掘削積込

100.00 m3 当り

(WJ501010)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 クローラ型山積0.28m3, 排出ガス対策型(第2次基準値)		時間			第7号施工表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m3	当り		

条件名称
J01 バックホウ機種
J02 バックホウ規格

入力名称
クローラ型山積0.28m3
排出ガス対策型(第2次基準値)

第 0007 号 一位代価表(施工歩掛表) バックホウ運転

1.00 時間 当り

(WJ501013)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人			
軽油		L			
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		hr			
合 計	1	時間	当り		

条件名称
J01 バックホウ機種
J02 バックホウ規格

入力名称
クローラ型山積0.28m3
排出ガス対策型(第2次基準値)

第 0008 号 一位代価表(施工歩掛表) 発生土・As塊・Co塊処理 10.00 m3 当り

(WJ501030)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転 4t 良好		日			第5号施工表
合 計	1	m3	当り		

	条件名称	入力名称
J01	施工区分	土砂
J02	ダンプトラック規格	4t積
J03	積込機種	バックホウ山積0.28m3
J04	DID区間の有無	有
J12	運搬距離(4t)山積0.28m3	9.0km以下
J19	DID有 タイヤ損耗費	良好
J20	処分費計上の有無	無

第 0009 号 一位代価表(施工歩掛表) タンパ 運転 1.00 日 当り

(WJ501022)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー		L			
タンパ及びランマ 質量 60～80kg		日			
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

第 0010 号 一位代価表(施工歩掛表) 路盤工

100.00 m2 当り

(WJ501050)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人			
再生クラッシャーラン RC-40	12.700	m3			
タンパ 運転		日			第11号施工表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m2	当り		

	条件名称	入力名称
J01	施工層数	1 層
J02	施工幅	1.8m未満
J03	路盤材料	再生クラッシャーラン RC-40
J04	路盤材設計量	10 m3/100m2

第 0011 号 一位代価表(施工歩掛表) タンパ 運転

1.00 日 当り

(WJ501052)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー		L			
タンパ及びランマ 質量 60～80kg		日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

第 0012 号 一位代価表(施工歩掛表) 舗装工(人力)

100.00 m2 当り

(WJ501080)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物	9.680	t			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		L			
振動ローリ運転		日			第13号施工表
振動コンパクタ運転		日			第14号施工表
諸雑費(その他材料)(率)	1	式			
諸雑費(率・まるめ)	1	式			
合 計	1	m2	当り		

条件名称
J01 1層当り仕上り厚
J02 歩車道区分
J03 アスファルト混合物
J04 瀝青材料
J05 砂の散布有無

入力名称
40 mm
歩道
粗粒度及び密粒度アスファルト混合物
プライムコート(PK-3)
有

第 0013 号 一位代価表(施工歩掛表) 振動ローラ運転

1.00 日 当り

(WJ501081)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
軽油		L			
振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t		供用日			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

第 0014 号 一位代価表(施工歩掛表) 振動コンパクタ運転

1.00 日 当り

(WJ501082)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人			
ガソリン レギュラー		L			
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		供用日			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合 計	1	日	当り		

第 0015 号 一位代価表(施工歩掛表)

軽量鋼矢板たて込み工(機械施工)

100.00 m 当り

(WJ101021)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 クローラ型山積0.28m3, 排出ガス対策 型(第2次基準値)		時間			第7号施工表
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合 計	1	m	当り		

条件名称
J01 掘削深
J02 バックホ機種
J03 バックホ規格

入力名称
3.0m以下
クローラ型山積0.28m3
排出ガス対策型(第2次基準値)

第 0016 号 一位代価表(施工歩掛表) 軽量鋼矢板引抜き工(機械施工) 100.00 m 当り

(WJ101022)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 クローラ型山積0.28m3，排出ガス対策型(第2次基準値)		時間			第7号施工表
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合 計	1	m	当り		

	条件名称	入力名称
J01	掘削深	3.0m以下
J02	使用機械	バックホ 山積0.28m3
J05	バックホ規格	排出ガス対策型(第2次基準値)

第 0017 号 一位代価表(施工歩掛表) 支保材(軽量金属製)設置・撤去工 100.00 m 当り

(WJ101050)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
腹起し材質料	1.000	式			
切梁材質料	1.000	式			
水圧ポンプ賃料	1.000	式			
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合 計	1	m	当り		

J01 条件名称

J02 作業区分

J03 設置段数(掘削深)

切梁材種別

入力名称

設置+撤去

2段(3.5m以下)

水圧式ハイポポート

第 0018 号 一位代価表(施工歩掛表)

仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1.00 t 当り

(WB010020)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
基本運賃区分A 製品長12m以内 10kmまで	1.000	t			
合 計	1	t	当り		

条件名称	入力名称
J01 発注機関区分	関東・中部・近畿
J02 片道運搬距離(実数入力)	2 km
J04 製品長区分	12m以内
J05 運搬割増率	各種(実数入力)
J06 運搬割増率(実数入力)	0
J07 その他の諸料金の有無	無

第 0019 号 一位代価表(施工歩掛表)

仮設材等の積込み取卸し費

1.00 t 当り

(WB010030)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
積込み. 取卸し費(仮設材等)	1.000	t			
合 計	1	t	当り		

条件名称	入力名称
J01 作業区分	積込み、取卸し(片道分)

第 0001 号 一位代価表(特殊施工単価) As殻運搬処理
PJ0030

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
As塊運搬処理 As塊・Co塊(無筋), 4t積, ハック杓山 積0.28m3, 有, 9.0km以下, 良好, 無	m3				第4号施工表
		100			
廃材持込料 区分 越谷県土整備事務所 適用区分 As廃材	t				
		235			
合 計	1	m3	当り		

第 0002 号 一位代価表(特殊施工単価) 発生土運搬処理
PJ1060

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
発生土運搬処理 土砂, 4t積, ハック杓山 積0.28m3, 有, 9.0km以下, 良好, 無	m3				第8号施工表
		100			
建設発生土受入費(石灰) (第1～第3種建設発生土) 地山	m3				
		100			
合 計	1	m3	当り		

第 0004 号 一位代価表(特殊施工単価) 管路埋戻 (機械埋戻・バックホ)

PJ0020

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホ運転 クローラ型山積0.28m3, 排出ガス対策型(第2次基準値)	時間				第7号施工表
タンク 運転	日				第9号施工表
砂 再生	m3				
		100			
合 計	1	m3	当り		

第 0005 号 一位代価表(特殊施工単価) 軽量鋼矢板賃料

PJ0555

1.000 t 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鋼矢板(軽量矢板) 軽量型(2型、3型) 90日以内	日				
軽量鋼矢板 修理費及び損耗費 補助工法：無	補正率				
		1			
合 計	1	t	当り		

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
腹起し材質料 2段 (3.0m以下)	本・日				
腹起し材損料	本				
		4			
切梁材質料 水圧式ホルト	本・日				
切梁材損料	本				
		4			
水圧ポンプ賃料	台・日				
水圧ポンプ損料	台				
合 計	1	式	当り		

第 0001 号 一位代価表(施工 P 構成表) 舗装版切断

1 m 当り

(CB430510)

施工P(機15.050%, 労58.430%, 材26.520%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		10.24		K1
特殊作業員		19.96		R1
土木一般世話役		10.88		R2
普通作業員		8.92		R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		22.39		Z1
ガソリン レギュラー		2.81		Z2
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	舗装版種別	アスファルト舗装版
J02	アスファルト舗装版厚	15cm以下
J05	費用の内訳	全ての費用

第 0002 号 一位代価表(施工 P 構成表) 掘削

1 m3 当り

(CB210100)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
普通作業員		100		R1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	土質	土砂
J02	施工方法	現場制約あり

(CB210830)

施工P(機 0.000%, 労100.000%, 材 0.000%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
普通作業員		100		R1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
土質等区分

入力名称
土砂

(CB410650)

施工P(機 5.240%, 労76.830%, 材17.930%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
小型バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型] 超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.11m3		3.24		K1
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式] 運転質量3～4t		1.9		K2
運転手(特殊)		22.25		R1
特殊作業員		21.7		R2
普通作業員		19.48		R3
土木一般世話役		11.9		R4
フィルター材料		16.16		Z1
軽油		1.74		Z2
積算単価		標準単価		

J01

条件名称
平均厚さ

入力名称
100mm以上120mm未満

(CB430510)

施工P(機12.130%, 労44.250%, 材43.620%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
コンクリートカッタ[バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深30cm級ブレード 径φ75cm		8.25		K1
特殊作業員		15.11		R1
土木一般世話役		8.25		R2
普通作業員		6.76		R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ		19.28		Z1
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ		13.24		Z2
コンクリートカッタ (ブレード) 径14インチ		8.1		Z3
ガソリン レギュラー		2.04		Z4
積算単価		標準単価		

条件名称
J01 舗装版種別
J02 アスファルト舗装版厚
J05 費用の内訳

入力名称
アスファルト舗装版
15cmを超え30cm以下
全ての費用

(CB410010)

施工P(機18.520%, 労61.630%, 材19.850%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
モータグレーダ[土工用] 排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m		14.82		K1
ロードローラ[マカダム] 運転質量10～12t		1.86		K2
タイヤローラ[普通型] 運転質量13～14t		1.84		K3
運転手(特殊)		30.28		R1
普通作業員		12.48		R2
特殊作業員		9.73		R3
土木一般世話役		9.14		R4
再生クラッシャーラン RC-40		14.22		Z1
軽油		5.63		Z2
積算単価		標準単価		

条件名称
J01 補足材料の有無
J02 補足材料平均厚さ
J03 補足材料
J04 費用の内訳

入力名称
有り
16mm以上22mm未満
再生クラッシャーラン RC-40
全ての費用

第 0007 号 一位代価表(施工P構成表) 透水性アスファルト舗装

1 m2 当り

(CB410660)

施工P(機 0.610%, 労59.200%, 材40.190%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t		0.45		K1
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		0.11		K2
特殊作業員		25.04		R1
普通作業員		22.44		R2
土木一般世話役		6.84		R3
アスファルト混合物 開粒度アスコン(13)		39.91		Z1
ガソリン レギュラー		0.17		Z2
軽油		0.09		Z3
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
平均幅員
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下
J04 材料

入力名称
1.4m未満
40 mm
開粒度アスコン(13)

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0001号施工表	鑄鉄管布設 フランジ継手接合 新設, JWWA 7.5K, 75(80)mm, 本, 本, 無	口		WJ102050
第0002号施工表	バックホ舗装版直接掘削・積込 0cm超え10cm以下, クロー型山 積0.28m3, 排出ガス対策型(第2次基準値)	m2		WJ501040
第0003号施工表	バックホ運転 クロー型山積0.28m3, 排出ガス対策 型(第2次基準値)	時間		WJ501041
第0004号施工表	発生土・As塊・Co塊処理 As塊・Co塊(無筋), 4t積, バックホ山 積0.28m3, 有, 9.0km以下, 良好, 無	m3		WJ501030
第0005号施工表	ダンプトラック運転 4t 良好	日		WJ501031
第0006号施工表	バックホ掘削積込 クロー型山積0.28m3, 排出ガス対策 型(第2次基準値)	m3		WJ501010
第0007号施工表	バックホ運転 クロー型山積0.28m3, 排出ガス対策 型(第2次基準値)	時間		WJ501013
第0008号施工表	発生土・As塊・Co塊処理 土砂, 4t積, バックホ山 積0.28m3, 有, 9.0km以下, 良好, 無	m3		WJ501030
第0009号施工表	ダンプ 運転	日		WJ501022
第0010号施工表	路盤工 1 層, 1.8m未満, 再生クラッシャーラン RC-40, 10 m3/100m2	m2		WJ501050
第0011号施工表	ダンプ 運転	日		WJ501052

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0012号施工表	舗装工(人力) 40 mm, 歩道, 粗粒度及び密粒度アスファルト混合物, プライムコート(PK-3), 有	m ²		WJ501080
第0013号施工表	振動ロー運転	日		WJ501081
第0014号施工表	振動コンパクタ運転	日		WJ501082
第0015号施工表	軽量鋼矢板たて込み工(機械施工) 3.0m以下, クロー型山積0.28m ³ , 排出ガス対策型(第2次基準値)	m		WJ101021
第0016号施工表	軽量鋼矢板引抜工(機械施工) 3.0m以下, バックホウ山積0.28m ³ , 排出ガス対策型(第2次基準値)	m		WJ101022
第0017号施工表	支保材(軽量金属製)設置・撤去工 設置+撤去, 2段(3.5m以下), 水圧式ハイブサポート	m		WJ101050
第0018号施工表	仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 関東・中部・近畿, 2 km, km, 12m以内, 各種(実数入力), 0, 無	t		WB010020
第0019号施工表	仮設材等の積込み取卸し費 積込み、取卸し(片道分)	t		WB010030
第0001号施工P	舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, 全ての費用	m		CB430510
第0002号施工P	掘削 土砂, 現場制約あり	m ³		CB210100
第0003号施工P	人力積込 土砂	m ³		CB210830

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0004号施工P	フィルター層 100mm以上120mm未満	m ²		CB410650
第0005号施工P	舗装版切断 アスファルト舗装版、15cmを超え30cm以下、全ての費用	m		CB430510
第0006号施工P	不陸整正 有り、16mm以上22mm未満、再生クラッシュラン RC-40、全ての費用	m ²		CB410010
第0007号施工P	透水性アスファルト舗装 1.4m未満、40 mm, mm, 開粒度アスコン(13)	m ²		CB410660

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

R8既設防護管内配水管(国道16号)試掘等調査業務委託
(春日部市 小湊 地内)

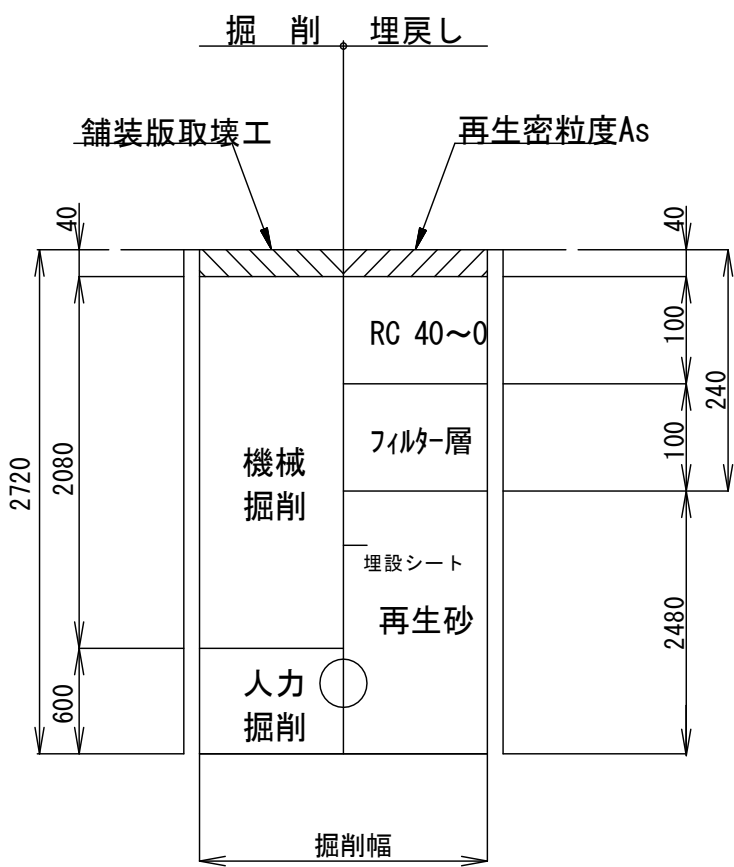
数 量 計 算 書

春日部市上下水道部工務課

試掘 数量計算書(国道歩道部)

工種		計算式(1箇所当たり)			1箇所
土工	舗装版切断(15cm以下)	1.2 m × 2	=	2.40 m	2.0 m
	舗装版破碎(15cm以下)	1.2 m × 1.2 m	=	1.44 m ²	1.0 m ²
	汚泥	2.4 m × 0.104 ÷ 100	=	0.0025 m ³	0.01 m ³
	As殻処分	1.2 m × 1.2 m × 0.04 m	=	0.06 m ³	0.1 m ³
	機械掘削	1.2 m × 1.2 m × 2.08 m	=	3.00 m ³	3.0 m ³
	人力掘削	1.2 m × 1.2 m × 0.6 m	=	0.86 m ³	1.0 m ³
	残土処分	3.0 m ³ + 1.0 m ³	=	4.00 m ³	4.0 m ³
	埋戻し(砂)	1.2 m × 1.2 m × 2.48 m	=	3.57 m ³	4.0 m ³
舗装 復旧工	フィルター層(砂 t=100)	1.2 m × 1.2 m	=	1.44 m ²	1.0 m ²
	上層路盤(RC-40 t=100)	1.2 m × 1.2 m	=	1.44 m ²	1.0 m ²
	表層(再生密粒As t=40)	1.2 m × 1.2 m	=	1.44 m ²	1.0 m ²
土留工	軽量鋼矢板3.0m 2段支保		=	1.20 m	1.2 m

国道歩道部



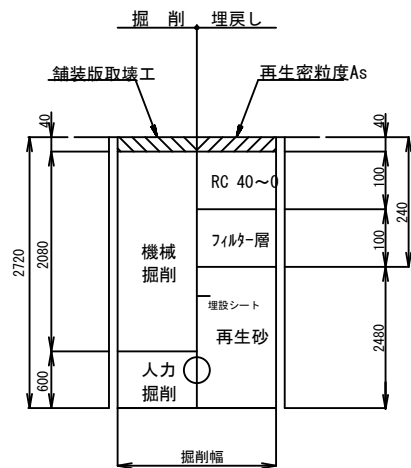
[illegible]



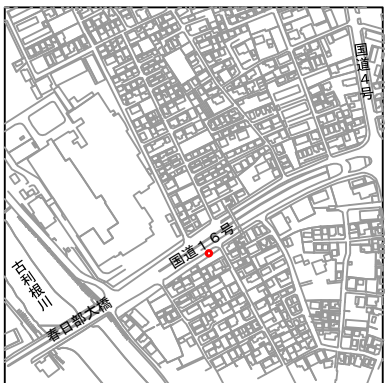
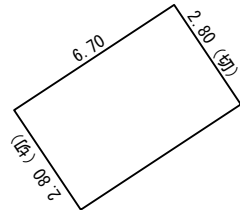
ガスφ100 DP=1.20m

試掘箇所

国道歩道部



縮尺 FREE



N= 1箇所
A= 19.0m

当初・変更区分	当初	図面サイズ	A1
工 事 名	R8既設防護管内配水管（国道16号）試掘等調査業務委託		
路 線 名	国道16号		
工事箇所	春日部市小洲地内		
図 面 名	案内図・平面図・土工標準図・舗装復旧展開図		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
春日部市 上下水道部 工務課			

試掘調査業務委託特記仕様書

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事委託業務実務要覧に定めるもののほか、業務委託に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、次の業務委託に適用する。

委 託 名 R8既設防護管内配水管（国道16号）試掘等調査業務委託
委託箇所 春日部市小湊地内

(損害の賠償)

第3条 受注者は、業務の実施にあたり、他人に与えた損害等は責任を持って解決し、その経過を遅延なく監督員に報告しなければならない。

(疑義)

第4条 業務の遂行上生じた疑義は、監督員と現場責任者が協議して解決するものとする。

第2章 業務内容

(業務委託概要)

第5条 本業務は、春日部市内の配水管調査のため試掘を行うものである。

(作業の進捗)

第6条 本業務を円滑に遂行するため、次の主要作業の区切りで監督員の承諾を受けてから、次の作業を進めるものとする。

- (1) 着手時
- (2) 報告書取りまとめ時

第3章 成果品

(成果品)

第7条 成果品の詳細は監督員が指示し定めるものとする。成果品の主なものを次に示す。

- (1) 報告書（調査結果） 1部

(2) その他必要なもの

(打合せ)

第8条 受注者は、打合せごとに内容を打合せ記録簿に整理し、監督員の承認を受けるものとする。

第4章 貸与品

(貸与品)

第9条 本業務の実施にあたり、次に示す資料を貸与するものとする。受注者は、貸与を受けた資料の取り扱い及び保管について徹底し、本業務完了後は速やかに発注者へ当該貸与資料等を返還するものとする。

- (1) 配管図台帳
- (2) 竣工図
- (3) 給水管詳細図等
- (4) その他

(機密保持)

第10条 受注者は、業務上知り得た機密及び住民等のプライバシーに関する事項等について、一切漏らしてはならない。履行期間終了後も同様とする。

(瑕疵担保責任)

第11条 本業務完了後、受注者の過失又は疎漏に起因する不良箇所が発見された場合は、発注者の指示により速やかに補足・修正を行うものとする。

工事特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、業務委託に関し必要な事項を定めるものとする。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の業務委託に適用する。

- ・委託名 R8既設防護管内配水管（国道16号）試掘等調査業務委託
- ・委託箇所 春日部市小湊地内

(共通事項)

第3条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム（COBRIS）により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の土砂を搬入する工事
- ② 500 t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終請負金額100万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の建設発生土を搬出する工事
- ② アスコン塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事
- ③ 最終請負金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託計画を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けるものとする。また、工事検査時には原本を提示しなければならない。

(建設発生土の搬出)

第4条 建設発生土は、下記に示す受入先を想定しているが別の受入地を選定する場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。なお、搬出に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督員に報告すること。

ア 受入地 (株) 春日部資材 (彩の国改良土プラント)
(春日部市大字下大增新田地内)

イ 土 質 第3種建設発生土

2 受注者は500m³以上の建設発生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の搬出、たい積等の規制に関する条例(埼玉県土砂条例)に基づき、土砂排出届書を受理担当機関へ提出する。

(建設廃棄物の再資源化等)

第5条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)に基づいて、特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト・コンクリート)の分別解体等及び再資源の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等については設計図書に、再資源化については以下の積算条件を設定しているが、費用等については契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

○再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
アスファルト	越谷アスコン(株)	越谷市増林3939
コンクリート	(株)共同土木	春日部市永沼612-1

※上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。ただし、原則として再資源化施設へ搬出すること。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

2 受注者は、契約前に「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。

3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用【促進】実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

（再生資材の利用）

第6条 下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資材名	規 格	備 考
再生アスコン	(13)－50、(20)－50	表層及び基層等
再生粒調砕石	40mm以下	路盤材等
再生切込砕石	40mm以下	路盤材等
改良土	20mm以下	埋戻し材
再生砂	細粒分含有率50%未満	埋戻し材

- 2 現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

- 3 改良土は、地盤の掘削等から発生する土砂を、セメント系、石灰系あるいはこれに類する添加剤により改良したもので、次の規定に適合しなければならない。

- (1) 無公害であること。
(2) ゴミ、ガラ、有機物、産業廃棄物等の異物を含まないこと。
(3) 添加剤との発熱反応が終了していること。
(4) 品質は、下記の表の基準値を満たすこと。

なお、基準値は、発熱反応終了後の試料による、品質管理のデータの試験によって求められること。

項 目	基 準 値
最大粒径	20mm以下
C B R	6%以上 ※20%以下

※ C B Rの基準値は、出荷時から30日間さかのぼった品質管理データの試験値の個々の値が6%以上で、それらの平均値が20%以下とする。（※平均値）

- (5) プラントにおける品質管理基準は下記の表のとおりとする。

管 理 項 目	基 準 値
含水比、粒度、設計C B R、コーン指数	1日または1,000m ³ に1回

注 ① この基準は、定置式土質改良プラント製造される埋戻し用改良土に適用する。

- ② 河川、湖沼、下水道等の公共用水域及び地下水に改良土からの溶出水が流入するおそれのある場合には、水質汚濁防止法による排出基準のpHが5.8～8.6と定められているので、この基準に準拠し、覆土を施す等施工上の配慮を行うこ

と。

(6) 建設発生土の受入れと改良土の製造は同一プラントとする。

(配水管工事技能者の資格要件)

第7条 受注者はダクタイル鋳鉄管耐震管の工事については、(社)日本水道協会の配水管技能者名簿に「耐震継手」で登録されているものを配管工として従事させるものとする。

2 受注者は、水道用ポリエチレン管の工事については、配水用ポリエチレンパイプシステム協会または管材メーカーが主催する施工講習会を受講し、受講証または修了証を有するものを配管工として従事させるものとする。

(法定外の労災保険の付保)

第8条 業務委託において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

(適 用)

第2条 この特記仕様書は、次の業務委託に適用する。

- ・委託名 R8既設防護管内配水管（国道16号）試掘等調査業務委託
- ・委託箇所 春日部市小湊地内

(濁水の処理)

第3条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

- ・種類 汚泥（油分を含む汚泥）
- ・中間処理施設 北葛飾郡松伏町ゆめみ野東四丁目地内、東武商事（株）
- ・処理方法 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は熔融含まず）

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

(共通事項)

第4条 受注者は、舗装切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「manifesto」という。）により管理するものとする。

(提出書類)

第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第4条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事完成後速やかにmanifestoの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

(その他)

第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。